

- 系 統 2液型可とう性エポキシ樹脂系モルタル
- 特 長 1) 可とう性に優れる。
2) コンクリートや鋼板に対する接着性、追従性、耐久性に優れる。
- 用 途 1) 薄層舗装材

配合比

	結合材	顔料	骨材			合計
	レジンファルト	顔料	接着剤用 フィラー	接着剤用 硅砂4号	接着剤用 硅砂7号	
配合比	10kg	1袋	10kg	37.5kg	50kg	107.5kg
1m ³ 当りの 標準使用量	195.3kg	19.35袋	195.3kg	732.7kg	976.7kg	2100kg

※顔料は、色によって配合比が異なる。

荷 姿

- レジンファルト…10kgセット（主剤+硬化剤）
- 接着剤用フィラー…10kg/袋
- 接着剤用硅砂4号…25kg/袋
- 接着剤用硅砂7号…25kg/袋
- 顔料（標準色：グリーン、ライトグリーン、グレー、ブラウン、ブラック）…0.1~1.5kg/袋
※標準色以外の色については、別途相談

可使時間および
養生時間

温 度 [°C]	5	10	20	30
可使時間 [分]	400	150	70	30
養生時間 [時間]	48*	36*	18(10*)	10(8*)

*低温時にレジンファルト（バインダー）のみ40°Cに加熱して施工した場合

比 重

- 1.0±0.10（硬化物）

使用 方法

- レジンファルトをセット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
- 主剤と硬化剤を均一になるまで混合攪拌する。
- 着色は、樹脂に所定量の顔料を添加し、さらに均一になるまで混合攪拌する。
- 骨材を所定の配合で、モルタルミキサー等で混合攪拌する。
- 混合した骨材に、攪拌しながらレジンファルトを加え、均一になるまで攪拌する。
- モルタル敷設面にレジンファルトプライマーを塗布する。
- プライマーの硬化前に、モルタルをコテなどで転圧しながら、所定の厚さに仕上げる。

使用上の注意

- 接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去）
- 鋼板面の場合は防錆対策に留意する。
- 低温時には、レジンファルトや骨材をジェットヒーター等により加温すれば、混合が容易になり、良好な作業性が得られる。
- 施工後、降雨や濃霧等の恐れがある場合には、シート等を被せて養生を行う。

⚠ 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細についてはショーボンド レジンファルトの製品安全データシート（MSDS）を参照してください。 |
|--|